

グリーンプラン進捗状況点検評価 確認事項・回答一覧

施策	内容	回答	担当部署
101	発案から決定までのおおよその期間に対し、進捗の度合いと、計画決定時期はいつ頃を目指しているのか確認したい。	令和 6 年 1 1 月頃 都市計画（案）の縦覧・意見募集 令和 7 年 1 月頃 都市計画審議会で審議 3 月頃 都市計画決定 を予定しており、現在は都市計画（案）の作成に向けて関係部署と協議しながら資料を準備している。	みどり計画係
105	継続的に要望しているとのことですが、どのような内容でしょうか、上記のように板橋区の緑地は官庁が所有又は管理しているもの以外は減少の一途をたどっていません早急の税制改正が必要だと思いますが？	国交省都市局公園緑地・景観課と国税庁に対して、「市民緑地の相続税にかかる特例措置の拡充」を要望している。	みどり計画係
110	ライトアップを実施した結果、魅力が向上したかどうかはどのように測っていますか？	例年、地域住民の協力のもとライトの明るさや、色の濃さ、投影角度などを話し合いながら開催しております。ライトアップ開催中は地域住民だけではなく沢山の方にお越しいただき、足をとめ写真撮影などをして桜を楽しんでいただいております。 「石神井川の桜並木」及び「板橋」は平成15年に区民の方などが選出した”板橋らしさ”を感じさせる心に残る風景や風物、感動や安らぎを与えるものとして、板橋十景に選出されました。 魅力の向上を数値で測ることはできませんが、板橋十景でもある「石神井川の桜並木」をただ見に来ていただくだけではなく、ライトアップを行うことにより、板橋区に古くからある観光資源の魅力をより向上させ発信できると考えております。	くらしと観光課
110	桜、川は都管理なのか、区管理なのか。	河川は都管理、側道（桜を含む）は区管理となっている。	事務局
111	地元勉強会の主体は行政か、地域の自主活動グループなのか？	主体は地域住民であるが、区がコンサルタント委託により勉強会の運営支援を行っている。地元町会からご推薦いただいた方、まちづくりニュースや啓発イベントにて興味を持っていただいた方にご参加いただいている。	都市計画課
111	既指定の5区は住民主導で重点地区となり、赤塚4,5丁目は新規指定の為に勉強会が開かれていてと聞くと、今後、他の地域が新規指定を目指したり他地域への推奨など見据えて、指針や上記の経緯を公表をする予定はあるか？	既指定の 5 地区のうち最初の 2 地区（①板橋崖線軸地区、②石神井川軸地区）は景観計画の策定と同時に、行政主導により進めた指定である。 なお、景観まちづくりの状況は「景観まちづくりニュース」としてとりまとめ、地区内に配布するほか、区HP内にも掲載し、公表している。	都市計画課
111	担当部署はみどりと公園課、都市計画課とあるが、「都市づくりビジョン」の中の“緑と水の創出・保全”の情報共有など、具体的な連携はあるか？(前回の推進会議で他管轄との連携について少し触れたこともあり、複数の部署の連携強化で更に盤石な体制に…)	景観に係る届出等の際に、緑化条例の案内を行ったり、みどりと公園課へ情報提供等を行ったりしている。また、景観審議会にて一般区民向けの緑に関するガイドライン等作成の提言があり、みどりと公園課、環境政策課と調整した。	都市計画課 みどり計画係
203	令和4年度、5年度と評価Cになっている（令和5年度は暫定）。努力不足と受け取られてしまいかねないが、担当部署としての評価を知りたい。	別添の過去30年間の統計結果によると、板橋区内の農地面積は年々減少しているが、区内農地面積の減少率に比べ、生産緑地地区の減少率は明らかに低く、生産緑地地区は板橋区の農地保全に一定の成果を出している。 令和 4 (2022)年に、指定告示から30年を迎え買取申出（解除）が可能となることから農地の宅地化が一斉に進むことが危惧されていた、いわゆる「2022問題」については、平成30（2018）年度から『特定生産緑地』の指定に向け、生産緑地所有者への説明会や個別訪問、個別相談等を重ね、意向確認に取り組んだ。令和 4 (2022)年度には、対象農地の約44地区・約6.39ha（対象農地に対する指定割合：約 9 割）の『特定生産緑地』の指定を終え、一定の農地保全が図られたと認識している。 生産緑地地区の新規指定については、農業委員会事務局（赤塚支所都市農業係）と連携を図り、農業だより等での普及・啓発活動に取り組んでおり、令和 5 年度においても農業従事者からの新規指定に向けた相談が寄せられている。 引き続き、生産緑地地区の指定による農地保全に尽力していく。	都市計画課
209	この学校は、成増にある農業学校のことですか？ わが家も 1 年間、短期講習を受けましたが、区民農園を始める前の予習として学びの場があり、役に立ちました。	成増四丁目にある農業体験学校のこと。 ご利用いただき、ありがとうございます。	事務局
401	「かわまちづくり」は団体でしょうか？	国土交通省が行っている支援制度略称で、「河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取り組み」である。。板橋区では、荒川河川敷の有効活用に向け、本制度を活用して検討している。	事務局

グリーンプラン進捗状況点検評価 確認事項・回答一覧

施策	内容	回答	担当部署
401	荒川には、〈自然系ゾーン〉と〈利用系ゾーン〉があり、自然系の活用として「生物生態園」が整備されている。事業概要には生物生態園の“活用推進”とあるが、具体的にどのような推進をしているか？また、整備内容や利活用についての検討は地域や区の住民などの意見も取り入れられているのか？	平成25年度の改修設計の際は、全5回のワークショップを開催し、整備内容や活用イメージについて区民からの意見を取り入れている。	公園設計係
403	湧水の測定や、推進会議でのツアーや意見交換などの実施については評価できる。さらに、保全・活用としての具体的な事例があれば知りたい。(例えば、湧水保全地域の“雨水浸透ます”設置費助成制度の活用状況などについて)	ホームページで湧水地点の紹介をしている。湧水散策マップを配布したり、パネル展示を行っている。 雨水タンクについては令和2年から4年まで各年16個、合計48個の助成をしている。雨水浸透ますについては相談を年に数回受けているが、なかなか設置まで至らない状況である。	環境政策課 みどり計画係
403	以前は、「小豆沢崖線」「見次公園」も湧水(水質)調査をしていたように思うが、今は対象外になっているのか？	小豆沢崖線沿いの御手洗池、見次公園湧水は毎年、水質調査を行っている。平成30年までは環境白書の資料編に掲載していたが、令和元年分からホームページの環境データ集としての公開に変更した。 https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/1026374/index.html	環境政策課
602	どのようなオープンスペースにする計画でしょうか？	【ピッコロ地区】 今後、実施設計を行う中で具体的な計画内容となる予定。 安全でゆとりある歩行空間の確保と、新しい大山の空間形成にふさわしい多様な広場整備により、憩いとにぎわいの空間形成を図るとともに、災害時の活動拠点等の防災性向上の役割を担う。 【クロスポイント地区】 令和6年12月の工事完了に向け、工事を進めている。 歩行者の利便性・安全性の向上を図ると共に、回遊性の高い快適な歩行者空間を確保するため、歩道状空地を整備し、併せて緑地を配置する。また、地域住民の交流と憩いの空間として利用可能な広場を整備する。 【上板橋駅南口駅前東地区・西地区、板橋駅板橋口地区】 ・再開発敷地内に緑地広場を整備 【板橋駅西口地区】 ・再開発敷地内に公園及び緑地広場を整備	都市計画課 まちづくり調整課 地区整備課
602	再開発事業の計画段階に、地域住民はどのように関わることができますか？	再開発の計画内容は、区の都市計画決定に先立ち行われる原案説明会や公告・縦覧・意見募集、更に案の公告・縦覧・意見募集などのプロセスにより、地域住民に周知し、意見募集をしている。	都市計画課 まちづくり調整課 地区整備課
607	区のホームページによると、公道街灯はH28年度(2016年)からLED化に取り組みR5年度4月時点で98.5%をLED化とある。公園灯もこの中に含まれているのか。	公園灯は含まれていない。 公園灯についても順次LED化を図っており、令和6年2月時点で94.6%のLED化を図っている。	事務局
704	赤塚植物園の植物（ハーブなどはない？）を活用したお茶会を希望。あの辺りは、カフェが少ないので、飲みものをたのしめるイベントや講習会があると、より「みどり」を身近に感じられるのではと思う。	赤塚植物園でハーブを栽培している。（ペパーミント、レモングラス、レモンバーム、ローズマリー、ローマンカモミール、コモンマロウ）予算の範囲内で器材等を購入し、ハーブティーの提供ができるか検討を進めていく。	みどり推進係
710	A～Bに下がった理由は減少だけが理由ですか？ 各ボランティアの活動状況は落ち込みは無いのでしょうか、ある団体から一言あったのですが、作業頂いているボランティアの活動を盛り上げるような思索はありませんか？（たとえば、花壇のデザインコンテスト等）	公園数と活動グループ数が減少したため、Bとしている。 令和4年度には団体間の交流促進や情報共有を目的に、交流誌（年2回発行）を復活させた。これまで発行した号で団体紹介や花壇づくりに役立つ知識について掲載したほか、団体からの声を受け貸出し用の道具を導入する等、活動を全面的にサポートするメニューを進めている。	みどり計画係 南北土木SC